

これまでの経緯と今後の流れ

平成23年4月に新たな「横浜市環境管理計画」及び「ヨコハマbプラン」を策定し、同年7月には「これからの環境行政のあり方について」環境創造審議会へ諮問を行いました。その後設立された基本政策部会において、本市環境行政の取組についての評価・検証、及び、今後の環境行政に対する提案をいただき、23・24年度にそれぞれ提言をいただいています。25年度は、これらの提言を含め、これからの環境行政の推進に向けた総合的な評価・検証と提案を取りまとめ、答申をいただく予定です。

◇H23.7.5 第14回環境創造審議会(諮問) 資料

検討内容

(1)本市環境施策に対する総合的な評価・提案

新たな計画は、これまでの環境を取り巻く状況を踏まえ、市民生活、経済、まちづくりなどあらゆる分野との連携により、環境を基軸として総合的に施策を推進していくために取りまとめました。

新たな計画を着実に推進するため、個々の施策の取組状況の把握に留まらず、市民意見を踏まえた総合的な評価、以降の取組へのフィードバックといったプロセス管理を徹底します。そのため、行政自らの点検・評価や総合的な調整に加え、審議会において専門的な見地からも評価・提案をしていただきます。この結果を踏まえ、市民生活、経済、まちづくりなどの幅広い分野との連携を図り、環境行政を展開していきます。

(2)これからの環境行政への提言

一方、東日本大震災による未曾有の災害は、エネルギー政策やライフスタイルの転換など、環境行政を推進するうえで新たな課題をもたらしました。こうした課題を踏まえ、市民生活の更なる安全・安心の実現に向けた取組を進めていく必要があります。

そこで、(1)の評価・提案も踏まえ、これからの環境行政の推進に向けて、検討していただきます。

